

令和8年度 練馬区校長会



I 活動方針・重点事項等

○「未来を拓く One Team」

本校長会は、練馬区立小学校、練馬区立小中一貫教育校の65校で構成し、令和8年度は、65校が共に力を合わせながら一体となって取り組んでいくことを目指し「未来を拓く One Team」を校長会の方針として掲げている。

II 活動・取組

○小学校長会（年11回）

区内全小学校長が集まり、課題の共有や協議、情報交換を行い、学校経営の課題解決や改善充実に取り組んでいる。

○地区代表校長会（年11回）

会長、副会長、都幹事、地区代表、教育会会長、特別支援学級設置校長会会長等で組織し、区全体の教育課題や教育委員会から挙げられてきた課題等について協議し、小学校長会への提案事項を精査するとともに、各地区への情報提供をしている。

○地区校長会（年11回）

65校を8つの地区に分け、各地区で協議した課題や事案について、地区代表校長会や小学校長会において提案・報告したり、課題を各地区で検討したり共通認識したりし、小学校長会全体の連携向上を図っている。

○各部の報告

全校長が「総務厚生」「調査予算」「研究」「移動教室」「研修相談」の各委員会に所属し、業務を遂行している。各委員会の提案事項や調査項目については、地区代表校長会で協議し、小学校長会で報告し、各校の学校経営に活かしている。

○練馬区教育委員会主催による代表校長会・合同校長会（年11回）・役員校園長会（年5回）

練馬区教育委員会との連携を深め、毎月1回（8月を除く）の代表校長会・合同校長会及び年5回の役員校園長会を実施している。練馬区教育委員会からの課題や要請を、小学校長会として前向きに受け止め具現化を図るとともに、小学校長会からの意見や要望を練馬区教育委員会に提言し、円滑な教育行政が進められるよう努めている。

III 特色・特徴等

○小中一貫教育・幼保小の連携

区教委の施策に伴い、区内全小中学校が22の中学校区グループに分かれ、各中学校区グループの実態に合わせた施設分離型一貫教育の在り方を検討し、具体的な活動に取り組んでいる。「ねりま小中一貫フォーラム」や8地区小学校を会場とした「幼保小連携協議会」等で実践交流している。

○教育管理職候補の育成

教育管理職候補を育成するための研修会を、研修相談委員会が中心となって企画・運営し、全校長が参加して教育管理職候補の指導・育成に努めている。

○人気の給食メニュー「ねりまスパゲッティ」

練馬と言えば「練馬大根」毎年、練馬大根引っこ抜き大会があった翌日の給食は「ねりまスパゲッティ」が提供される。子供たちに大人気である。

